

△ 再作成

適用規格					
定 格	使用温度範囲	−40℃ ～+90℃ (90%RH MAX)	保存温度範囲	−40℃ ～+90℃ (90%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ～ 2 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	10 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 20 mΩ以下 外部コンタクト 10 mΩ以下	○	—
	絶 縁 抵 抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—
	耐 電 圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0.045 ～ 2 GHzにて測定する。	V SWR 1.3 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 --- ～ ---GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
	単 体 挿 抜 力	--- の鋼製ピンで測定する。	差込力 --- N以下 引抜力 --- N	—	—
総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。		差込力 --- N以下 引抜力 --- N	—	—
機 械 的 性 能	繰 り 返 し 動 作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コンタクト 25 mΩ以下 外部コンタクト 15 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 100 Hz, 振幅 3 mm, 加速度 59 m/s ² で 3 軸方向各 1 時間 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 735 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	--- N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 40 °C, 湿度 95 %中に --- サイクル(96 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 −40 → 5~35 → +90 → 5~35 °C 時間 30 → 5MAX → 30 → 5MAX 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△ そ の 他	リフロー条件 ①温度はコネクタリード部のプリント基板表面温度を表します。 ②リフローによるはんだ付けはプリント基板表面のピーク温度 250℃以下で実施して下さい。 ③温度プロファイルは基板の大きさ、使用はんだ、はんだ厚等の条件により変化します。 リフロー方式: 1 Rリフロー リフロー回数: 2回以下 推奨スクリーン厚さ: 0.1~0.12mm				
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	2	DIS-D-002369	RO. FURUYAMA	NK. NINOMIYA	12. 07. 02
備考 RoHS適合品 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	IJ. MITANI	05. 01. 05
			検 図	MH. YAMANE	05. 01. 05
			担 当	NK. NINOMIYA	05. 01. 05
			製 図	MA. SAEKI	05. 01. 05
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-130348-10		
		製品規格表	E. FL-R-SMT (10)		
		ヒロセ電機株式会社	製品名	CL331-0421-1-10	
		製品コード		△	1/1

